

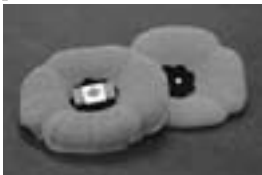
No.25 A WORD FROM ANOTHER WORLD



November 2013 “Lest we forget” Stacy Fujikawa

The 11th hour, of the 11th day, of the 11th month marks a special time for commonwealth countries. November 11th is known as Remembrance Day in Canada; the purpose of the day is to commemorate members of the armed forces who died in the line of duty. The first memorial took place in England one year after WWI ended, and now happens every year across Canada. A moment of silence is always observed at eleven o'clock.

During WWI a poem called “In Flanders Field” became well known. The author, a Canadian physician and soldier, wrote the poem after a battle in Flanders (a region in Belgium) where red poppies grew quickly around graves. The red poppy has become the symbol of the holiday. Red poppy pins are worn from the beginning of November until Remembrance Day.



Red poppies grew quickly around graves. The red poppy has become the symbol of the holiday. Red poppy pins are worn from the beginning of November until Remembrance Day.

忘れないうちに、2013年11月 ステーシー・フジカワ

イギリス連邦の国々にとって、11月11日11時は特別な時。カナダでは、リメンブランスデーとして知られています。戦争で亡くなった従軍者を追悼するものです。初めて追悼行事が行われたのはイギリスで、第一次世界大戦の翌年のことでした。今では毎年、カナダ全土で行われています。いつも11時に黙とうが捧げられます。

第一次世界大戦中、フランダース・フィールドという詩が有名になりました。作者はカナダの医師であり兵士だった人。ベルギーのフランダース地方で、あつという間に赤い墓の周囲にポピーが咲いたため、この詩を書きました。赤いポピーはこの日の象徴となりました。11月初旬からリメンブランスデーのその日まで、赤いポピーをピンで衣服に留めます。

英語教育指導員 宮地晶子の

エイゴノマナビカタ

第101回

只管朗読(しかんろうどく)

夏休み明け、教育実習生が1年生の授業を見にきました。せっかくなので、英語で自己紹介をしてもらいました。その後、生徒に「質問してもいいよ」と言ってみたら、な…な…なんと、みんな一斉に手を挙げて実習生に質問します。

“Do you have any pets?” “Do you like soccer?” “Do you like pop music?” “What subject do you like?”

実習生はたじたじ。まさか英語で質問が飛んでくるとは思わなかったのでしょうか。果ては、” What do you have in

In Flanders Fields

By Lieutenant Colonel John McCrae

*In Flanders fields the poppies blow
Between the crosses, row on row,
That mark our place; and in the sky
The larks, still bravely singing, fly
Scarce heard amid the guns below.*

*We are the Dead. Short days ago
We lived, felt dawn, saw sunset glow,
Loved and were loved, and now we lie
In Flanders fields.*

*Take up our quarrel with the foe:
To you from failing hands we throw
The torch; be yours to hold it high.
If ye break faith with us who die
We shall not sleep, though poppies grow
In Flanders fields.*

【ちょっと豆知識】

宮地晶子

※commonwealth countries イギリスと旧イギリス植民地から独立した諸国で構成されるゆるやかな連合体のこと。イギリスを含め、16国家の女王・元首はエリザベス2世。カナダでも統治はしないけれど、エリザベス女王が元首です。

フランダースの野に 陸軍中佐 ジョン・マクレー

フランダースの野に ポピーがそよぐ
僕たちの場所と記された
幾重にも連なる十字架の周りで
空には今もひばりが、勇敢に歌いながら飛んでいる
地上の銃声のもと、声がかき消されていた

僕らは死者 数日前まで、生きていた
夜明けを感じ、夕日の輝きを見た 愛し、愛されていた
今、横たわる、フランダースの野に

敵との戦いを続けてくれ
倒れながら、君に投げよ 松明を
高く掲げてくれ
死にゆく僕らの信頼を裏切るなら
僕らは眠らない

フランダースの野に、ポピーが咲いても (訳:宮地晶子)

your hand?” (手に何を持っていますか)。実習生はわが手をじっとみつめて、答えにつまってしまう始末。この時の生徒たちの笑顔が最高! 皆さんにもお見せしたかったです。自信にあふれて、楽しくって仕方ない感じ。

さて…と。東川中学校は一般的な公立中学校です。スーパー・イングリッシュ・スクールではありません。私がスーパー・ティーチャーなのでもありません。

からくりはこうです。彼らは夏休みの課題の暗唱を全員発表したばかりだったのです。先の質問はすべてその課題文の中にあつた英文です。みんなは頭の中から自分の知っている英文を最大限、取り出して使ってみたのですね。だから「手に何をもっていますか」なんておかしな質問まで。

「只管(しかん)朗読」という言葉をご存じでしょうか。同時通訳の神様、國弘正雄先生が提唱しました。鎌倉期における曹洞宗の開祖、道元禅師が「只管打坐」(ひたすら坐りなさい)と唱えたその言葉をもじったものです。中学生レベルの英文をひたすら音読すること。これほど力がつくことはありません。図らずも実証してくれた1年生に感謝です。